

PRESIDENT YACHTS

107 Triple Deck Motor Yacht

Perfect Boat



Ocean Style

オーシャンスタイル・パーフェクトボート

Perfect BOAT

すべてのボートファンに贈る、海とボートのスタイルマガジン

SEP. 2010

オーシャンスタイル・パーフェクトボート
9月号 第8巻 第13号 通巻86号
平成22年9月1日発行 毎月1回1日発行

定価1500円

特集

SUMMER CRUISING

いざ、ニッポンの海旅へ。
夏を満喫するサロンクルーザーたち

IMPRESSION

PRESIDENT 107

PRESIDENT 500 REGINA

BACK COVE 29

REGAL 4460

瀬戸内に行く

Special Issue

風間トオル、海へ。



Photo story 喜多嶋隆

Thanks for 10 Years
10th Anniversary PB!!
Perfect BOATはおかげさまで10周年!

ホビダス
趣味の総合サイト

www.hobidas.com

MEGA DREAM

多くのオーナーが、一度はカスタムで自分のボートを造りたいと思ったことがあるだろう。そう考えた場合、まず思い浮かぶのは、日本からも近く実績豊富な台湾のビルダーに自分の思い描くボート像を伝えることだろう。一時期、台湾には数多くのビルダーが溢れ、お世辞にも良いボートとは言えないものも多かった。それらが淘汰され、現在もボート製造を続けている台湾ビルダーは世界的にも高い評価を得ている。今回訪問した「PRESIDENT YACHTS」もそのひとつ。40年以上に渡り培ってきた世界レベルのクオリティを紹介しよう。

text: TAIZO
special thanks: PORT SIDE MARINE Co.
TEL: 045-770-6141
<http://www.portside-marine.com>

PRESIDENT 107 TripleDeck Motor Yacht



洗練された限りないくつろぎのとき
この優雅さはカスタムメイドでしか造れない

アジアを代表するカスタムボートビルダー、「PRESIDENT YACHTS」。40年以上に渡り世界各地にクラスを超えた様々なカスタムボートを送り出し、卓越した走航性能や、抜群のクオリティを誇るインテリアなどが優れた評価を得ている。なかでもそれぞれの顧客の要望に応じ、様々なパートに及んでレイアウト変更できる点などは、オーナーのみならず、そのボートの運航に携わるキャプテンの間からも好評を得ている。

1968年、台湾南西部に位置する台南県で創業した「PRESIDENT YACHTS」(正式にはPRESIDENT BOAT INTERNATIONAL)。イギリスでマリナーを営んでいるスコットランド人との合弁で始めた葉煌輝(EDDIE YEH)氏は、大理石工場経営からボートビルディングへと転身して成功を取った、台湾ボート業界のキーマンとして知られる人物だ。「PRESIDENT YACHTS」の初号艇はイギリス向けのクラシカ

ルなトローラー、「41 SUN DECK」だった。その後、徐々にアメリカ市場を意識したモダンなデザインを取り入れているが、現在でもトラディショナルなロングレンジクルーザーを得意としている。創業より既に1,500隻以上のカスタムボートを世界中にデリバリーしているが、過去には日本の某メーカーのOEM生産を行っていたことでもよく知られ、日本でも馴染み深いブランドだろう。今年の5月中旬、偶然にも日本で葉氏と出会い、マイアミに出荷される前の「107 Triple Deck Motor Yacht」の3号艇のシートライアルを行わないかと嬉しい誘いをもらった。6月初旬、早速「PRESIDENT YACHTS」の日本総発売元であるポートサイドマリンの保坂氏と共に現地台湾のファクトリーを訪れた。

ファクトリーに隣接する岸壁に舳を取り、我々を出迎えてくれた「107 Triple Deck Motor Yacht」は、Triple Deckの名に恥じない、真っ



To our new friends and future customers,
we welcome the opportunity to be of service to you.



「PRESIDENT YACHTS」が得意とするインテリアは、カスタムボートとして「パーフェクトなクオリティ」を持つ。欧米で流行しているクリーンなイメージのインテリアも良いが、この温もりを感じる雰囲気も捨て難い。



白な巨大な建築物のようにそびえ立っていた。

まずはメインデッキに足を踏み入れる。サテン仕上げのウォールナット材をメインのマテリアルにチョイスしたサロンにはバーカウンターも備えられ、訪れたゲストを丁重に迎え入れてくれる。ダイネットは中央のギャレいを挟むように前後に2か所も用意されている。雰囲気からして朝食と夕食とで分けて使いたいくらいだ。コンパートメントエリアとなるロワーデッキには2か所からアクセスする4つのステートルーム、オイル汚れなどとは無縁のエンジンルームがレイアウトされ、その後方にはこの船での優雅なひとときをサポートするクルー専用のバックスペースが備わる。ここだけでも50フィートクラスを遙かに凌ぐスペースとゴージャスな雰囲気を持っている。7.21mのビーム幅を最大限に活

かしたオーナー用のコンパートメントにはジャグジー付きのバスタブをはじめ、ウォークインクローゼットなどが備えられ、洋上でのパカンスをより一層快適に過ごすことができる。

最前部にパイロットハウスを備えるアッパーデッキ後方には、DAYコンパートメントとでも呼ぶべきオーナー用のサブコンパートメントが存在する。ロングクルーズの途中、静かなワンドに錨を下ろし、デッキにチェアをならべ、満点の星空を眺めながら夢見心地に浸れるなんてまさに夢のようだ。

取材二日目、10m/sの風が吹く少々荒れ気味の海でのシートライアルとなったが、当然のことながら、少々波高の波には意も介さず突き進んでしまう。この巨体を23ノットのスピードで走らせるパワーソー



最上段にはバーカウンターやBBQグリル、セッティなどが備わる。広大なスペースには思いのほか装飾が少ないが、これはオーナーのもとへと収められてからのキャプテンのアレンジの顔の見せ所となるだろう。



INTERVIEW

船はアート。 私は、自分の船を、 娘と思って造っている。

「PRESIDENT YACHTS」を率いる葉煌輝 (EDDIE YEH) 氏。1932年生まれの葉氏は、大の親日家としても知られており、親交の深い日本人オーナーや業界関係者も多く、古くから日本のボート業界に精通している希少な存在だ。我々PB編集部と同じく、日本のマーケットには、ボートに興味を持つ若者やエントリーユーザーが少なくなってきたことを憂慮しており、今後はボートに精通したオーナーを満足させる船造りが必要であると共に、入門者の開拓が必要だと。「船のサイズを問わずカスタムで造ることが可能なPRESIDENT YACHTSならば、オーナーの要望に合わせて様々なレイアウトが可能であり、絶対に満足させる自信がある」と熱く語っていた。また、「今後は中国マーケットから目が離せない。ボートの文化が成熟するまでにはまだ時間が掛かるが、いずれは世界最大のマーケットとなることだろう」。さらに、「ボートを作る側にも、それで遊ぶ人々の業界にも世界的な打撃を与えたリーマンショックのリカバリーは、アメリカよりも中国の方が早いと感じている」とも。最後に、「船という乗り物はアートだ。私は船を自分の娘と思って造っている。美しくない娘は嫁に出せないだろう」と温かな表情と流暢な日本語で語ってくれた。



葉煌輝 (EDDIE YEH)
PRESIDENT YACHTS 統一遊艇 社長



107フィートが短く感じてしまうほどのボリュームを誇るキャビン全貌。トップヘビーにも感じるが、フィンスタビライザーがよい仕事をするため、安定した走りを披露してくれる。

スはCAT C32 ACERT。1,825馬力を発揮するユニットを2基搭載する。そもそもこの船の動力性能を語ったところであり意味はないだろうが、17ノット近辺のクルージングスピードではサロン内は平和そのもの。海に浮かぶ別荘、フローティングヴィラという言葉が相応しい空間だ。

台湾では、政治的な理由から現在も自由にプレジャーボートینگを楽しむことは難しいが、徐々にマリーナの整備も進んでいるようだ。また、マイアミやハワイ、海南島に近い緯度に位置する最高の環境を備えた国でもある。近い将来、海を取り巻く規制が緩和され、自由に走ることができるようになれば「PRESIDENT」をはじめ、台湾製のボートのクオリティはより研ぎ澄まされ、世界中に普及することは間違いのないだろう。P.B.



まさに機室室という言葉に相応しい広大なエンジンルーム。その回り込みは細部まで妥協を許さない。搭載されるエンジンは環境性能にも優れたCAT C32 ACERT 1,825馬力×2基。



深夜に浮かぶ「PRESIDENT」。センスあるライティングで船全体が美しくライトアップされ、昼間のエレガントなイメージとは違ったゴージャスな雰囲気を感じさせる。

SPECIFICATIONS... PRESIDENT 107

全長 32.50m
全幅 7.21m
重量 91,700kg
燃料タンク容量 15,140L
清水タンク容量 2,650L
エンジン 2 x CAT C-32
最高出力 2 x 1,810HP
最高スピード 22knot
巡航スピード 18knot
問い合わせ先 ポートサイド
TEL: 045-770-6141
<http://www.portside-marine.com>

SHIP YARD



従業員数250名を誇るファクトリーは、4隻のメガヨットを同時に建造することが可能なキャパシティを有している。取材時には135フィートの建造が急ピッチで進められており、その横でカナダ向けの2隻の「620 Pilothouse」がほぼ完成に近付いていた。隣接するオフィスには、船体の設計から内装のデザイン、レイアウトなどの開発部門がすべて集約され、使用するマテリアルのサンプルが所狭しとディスプレイされている。現在、同社では中東から2隻、アメリカから3隻のメガヨットクラスのオーダーを受けているそうだが、さらに、今後確実に増えるであろうソーラーパワーやHYBRIDシステムを搭載したボートもすでに研究中。それらが隔の目を見る日もそう遠くはないだろう。



PRESIDENT BOAT INTERNATIONAL CO., LTD. MANUFACTURER
No. 151, PINGSHA VILLAGE, JIANGJUN SHIANG, TAINAN HSIEN, TAIWAN , R.O.C.
TEL:886-6-7931793 (8 Lines) FAX:886-6-7930439 or 7930422 <http://www.presidentyachts.com>
E-mail:pml1@ms27.hinet.net or pbi-yachts@umail.hinet.net

ISO 9001

BUREAU VERITAS
Certification

